



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月27日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4506 URL http://www.ds-pharma.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世  
 問合せ先責任者 (役職名) シニアコミュニケーションオフィサー (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	198,088	△0.4	26,731	58.7	23,881	36.4	10,922	△17.3
28年3月期第2四半期	198,926	11.6	16,847	41.0	17,502	37.7	13,214	12.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期△24,242百万円( -%) 28年3月期第2四半期 11,097百万円(△56.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	27.49	—
28年3月期第2四半期	33.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	641,153	418,845	65.3
28年3月期	707,715	446,472	63.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 418,845百万円 28年3月期 446,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	9.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	398,000	△1.3	46,000	24.6	44,000	24.9	25,000	1.2	62.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	397,900,154株	28年3月期	397,900,154株
29年3月期2Q	599,690株	28年3月期	598,599株
29年3月期2Q	397,300,888株	28年3月期2Q	397,303,133株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成28年10月28日(金)に機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布する資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、北米セグメントでは、円高基調が続くなか、非定型抗精神病薬「ラツダ」を中心とする主力品の売上拡大により、増収となりました。一方、日本セグメントでは、戦略品である高血圧症治療剤「アイミクス」やパーキンソン病治療剤「トレリーフ」等の売上は拡大しましたが、薬価改定や長期収載品の売上減少の影響を補うには至らず減収となりました。これらの結果、連結合計では1,980億88百万円（前年同期比0.4%減）となりました。営業利益は、売上原価率が低下したことに加え、販売費及び一般管理費が円高の影響等により減少した結果、267億31百万円（同58.7%増）となり、また、経常利益は238億81百万円（同36.4%増）となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を、特別損失として早期退職制度の実施に伴い事業構造改善費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は109億22百万円（同17.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ① 日本

「アイミクス」、「トレリーフ」および非定型抗精神病薬「ロナセン」の戦略品3剤や、前期に販売を開始した2型糖尿病治療剤「トルリシティ」の売上は拡大しましたが、薬価改定や長期収載品の売上減少の影響が大きく、売上高は705億42百万円（同4.7%減）となりました。セグメント利益は、薬価改定による売上総利益の減少の影響が大きく195億67百万円（同11.3%減）となりました。

## ② 北米

「ラツダ」に加え、抗てんかん剤「アブティオム」および長時間作用型β作動薬「プロバナ」の売上が伸長したことにより、売上高は913億66百万円（同1.3%増）となりました。セグメント利益は、売上高の増加に加え、売上原価や販売費及び一般管理費が円高の影響等により減少したため、382億70百万円（同29.7%増）となりました。

## ③ 中国

主力品であるカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上は、現地通貨ベースでは、堅調に推移しましたが、円高の影響により、売上高は91億74百万円（同4.1%減）となりました。セグメント利益は、売上原価や販売費及び一般管理費が円高の影響等により減少したため、42億72百万円（同12.0%増）となりました。

## ④ 海外その他

「メロペン」の輸出が増加したこと等により、売上高は52億78百万円（同13.4%増）、セグメント利益は12億40百万円（同53.2%増）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は217億26百万円（同5.8%増）、セグメント利益は11億10百万円（同29.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産およびキャッシュ・フローの状況に関する分析

## ① 資産および負債純資産の状況

資産については、流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、有価証券や短期貸付金の減少等により、前期末に比べ372億39百万円減少しました。固定資産は、減価償却や為替換算の影響に加え、投資有価証券の一部を売却したことにより、前期末に比べ293億21百万円減少しました。これらの結果、総資産は前期末に比べ665億61百万円減少し、6,411億53百万円となりました。

負債については、借入金の返済と社債の償還に加え、未払法人税等が大きく減少したため、前期末に比べ389億34百万円減少し、2,223億8百万円となりました。

純資産については、利益剰余金は増加しましたが、為替換算調整勘定が大きく減少したことから、前期末に比べ276億26百万円減少し、4,188億45百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は65.3%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少や引当金の増加などのキャッシュの増加要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の減少や、法人税等の支払額が増加したことにより、前年同期に比べ7億52百万円収入が減少し、135億26百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の回収が大幅に増加したこと等により、前年同期に比べ34億1百万円収入が増加し、315億58百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済と社債の償還により、前年同期に比べ182億75百万円支出が増加し、265億30百万円の支出となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物の為替換算による影響額を加えた結果、当四半期末における現金及び現金同等物は1,404億12百万円となり、前期末に比べ48億36百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成28年5月11日に公表した平成29年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	410,000	40,000	40,000	25,000	62.92
今回修正予想 (B)	398,000	46,000	44,000	25,000	62.92
増減額 (B-A)	△12,000	6,000	4,000	—	—
増減率 (%)	△2.9	15.0	10.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	403,206	36,929	35,221	24,697	62.16

売上高は、各報告セグメントとも現地通貨ベースでは堅調に推移しているものの、円高基調が続いていることから、前回発表予想時の為替レートを見直したことにより、120億円減の3,980億円に修正しました。

一方、売上原価および販売費及び一般管理費は、円高による減少に加え、北米での販売費が前回予想に比べ下回る見通しであること等から、売上高の修正額を上回る減少が見込まれます。これらの結果、営業利益は60億円増の460億円、経常利益は40億円増の440億円に修正しました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益項目を見直した結果、前回発表予想数値を据え置いております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及びその他の包括利益累計額に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が193百万円、利益剰余金が385百万円増加し、その他有価証券評価差額金が192百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,922	97,401
受取手形及び売掛金	107,165	101,090
有価証券	81,039	43,322
商品及び製品	48,100	40,717
仕掛品	3,206	3,458
原材料及び貯蔵品	8,281	11,050
繰延税金資産	63,991	65,626
短期貸付金	48,426	13,136
その他	6,454	8,544
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	421,584	384,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,279	94,855
減価償却累計額及び減損損失累計額	△54,944	△55,926
建物及び構築物（純額）	40,335	38,928
機械装置及び運搬具	79,734	79,590
減価償却累計額及び減損損失累計額	△71,937	△72,353
機械装置及び運搬具（純額）	7,796	7,237
土地	6,269	6,222
建設仮勘定	1,497	2,114
その他	33,498	32,828
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,572	△27,628
その他（純額）	5,926	5,199
有形固定資産合計	61,824	59,703
無形固定資産		
のれん	76,950	66,589
仕掛研究開発	60,144	53,965
その他	19,485	16,488
無形固定資産合計	156,580	137,043
投資その他の資産		
投資有価証券	60,432	50,751
退職給付に係る資産	66	21
繰延税金資産	2,313	4,537
その他	4,953	4,780
貸倒引当金	△40	△29
投資その他の資産合計	67,725	60,061
固定資産合計	286,130	256,808
資産合計	707,715	641,153

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,153	13,320
短期借入金	1,010	—
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	12,000	8,000
未払法人税等	26,357	10,741
賞与引当金	10,809	9,694
返品調整引当金	9,086	9,387
売上割戻引当金	49,224	51,138
未払金	34,212	39,789
その他	14,869	17,611
流動負債合計	179,722	159,683
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	8,000	—
繰延税金負債	16,209	14,481
退職給付に係る負債	16,158	16,121
その他	21,152	12,020
固定負債合計	81,520	62,624
負債合計	261,242	222,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	341,401	349,134
自己株式	△663	△665
株主資本合計	378,999	386,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,293	20,011
繰延ヘッジ損益	△12	△97
為替換算調整勘定	48,025	17,925
退職給付に係る調整累計額	△5,832	△5,722
その他の包括利益累計額合計	67,473	32,116
純資産合計	446,472	418,845
負債純資産合計	707,715	641,153

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	198,926	198,088
売上原価	52,086	47,890
売上総利益	146,839	150,198
返品調整引当金戻入額	—	9
返品調整引当金繰入額	5	—
差引売上総利益	146,834	150,207
販売費及び一般管理費		
給料	20,836	19,849
賞与引当金繰入額	5,692	5,825
退職給付費用	2,473	2,290
研究開発費	40,200	37,744
その他	60,783	57,766
販売費及び一般管理費合計	129,986	123,476
営業利益	16,847	26,731
営業外収益		
受取利息	246	446
受取配当金	661	715
投資事業組合運用益	1,454	—
その他	124	204
営業外収益合計	2,487	1,366
営業外費用		
支払利息	471	325
為替差損	800	3,454
その他	560	436
営業外費用合計	1,832	4,215
経常利益	17,502	23,881
特別利益		
投資有価証券売却益	6,077	3,802
特別利益合計	6,077	3,802
特別損失		
事業構造改善費用	—	9,992
減損損失	154	—
特別損失合計	154	9,992
税金等調整前四半期純利益	23,425	17,691
法人税等	10,210	6,769
四半期純利益	13,214	10,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,214	10,922

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	13,214	10,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,220	△5,089
繰延ヘッジ損益	△3	△84
為替換算調整勘定	△1,158	△30,099
退職給付に係る調整額	264	109
その他の包括利益合計	△2,117	△35,164
四半期包括利益	11,097	△24,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,097	△24,242
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	23,425	17,691
減価償却費	6,931	6,753
のれん償却額	3,032	2,604
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	439	165
その他の引当金の増減額(△は減少)	9,153	7,740
受取利息及び受取配当金	△908	△1,162
投資事業組合運用損益(△は益)	△1,379	50
支払利息	471	325
有形固定資産売却損益(△は益)	4	△111
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,077	△3,802
事業構造改善費用	—	9,992
売上債権の増減額(△は増加)	△3,334	1,810
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,162	△4,891
仕入債務の増減額(△は減少)	802	4,476
未払金の増減額(△は減少)	△2,236	△1,295
その他	△9,010	△2,272
小計	20,153	38,074
利息及び配当金の受取額	1,020	1,190
利息の支払額	△327	△190
法人税等の支払額	△6,568	△25,548
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,278	13,526
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	18,032	—
有形固定資産の取得による支出	△2,674	△4,365
有形固定資産の売却による収入	5	118
無形固定資産の取得による支出	△3,532	△641
投資有価証券の取得による支出	△33	△179
投資有価証券の売却による収入	6,264	4,878
投資事業組合からの分配による収入	3,035	9
短期貸付金の純増減額(△は増加)	7,000	31,700
その他	58	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,156	31,558
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,113	△952
長期借入金の返済による支出	△5,770	△12,000
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△3,575	△3,575
その他	△21	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,254	△26,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△799	△13,717
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	33,381	4,836
現金及び現金同等物の期首残高	122,794	135,575
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,691	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	154,484	140,412

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,000	90,157	9,571	4,656	178,385	20,540	198,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	—	—	—	16	32	48
計	74,016	90,157	9,571	4,656	178,401	20,572	198,974
セグメント利益	22,051	29,511	3,813	809	56,185	858	57,044

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	56,185
「その他」の区分の利益	858
研究開発費(注)	△40,200
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	16,847

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について、回収可能性を評価し、154百万円を減損損失に計上しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	70,542	91,366	9,174	5,278	176,362	21,726	198,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	—	—	—	31	32	63
計	70,574	91,366	9,174	5,278	176,394	21,758	198,152
セグメント利益	19,567	38,270	4,272	1,240	63,350	1,110	64,461

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	63,350
「その他」の区分の利益	1,110
研究開発費(注)	△37,744
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の営業利益	26,731

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。